

漁海況情報

平成 26 年 6 月 11 日 第 7 号 (通巻 544 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【マアジ漁況予報】

6～8月のマアジの漁況は、15～25cmの1歳魚が主に、0歳魚と2歳魚以上も漁獲され、不漁であった前年を上回るでしょう。

<予報の根拠>

山口県沿岸の中型まき網による3～5月の漁獲量は、261トンで前年を上回るものの低い水準(前年比120%、平年比58%)でした(図1)。

中型まき網の初漁期(3～5月)の漁獲量と年間漁獲量の間には正の相関関係がみられます(図2)。今期の初漁期漁獲量をもとに、年間漁獲量を推定すると、1ヶ統あたりで246トン(全県での推定値が1,921トン)になり、前年(全県で1,335トン)を上回りました。

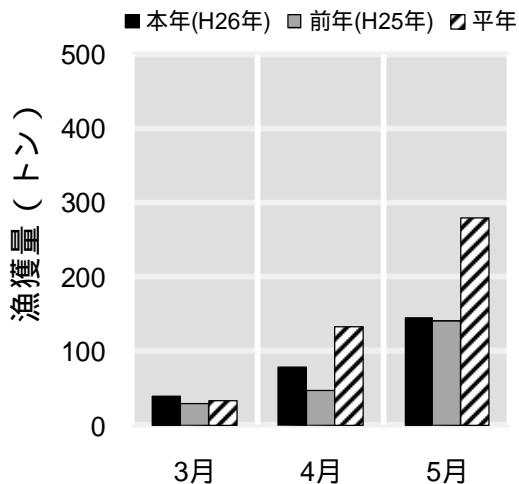


図1 中型まき網による3～5月のマアジ漁獲量

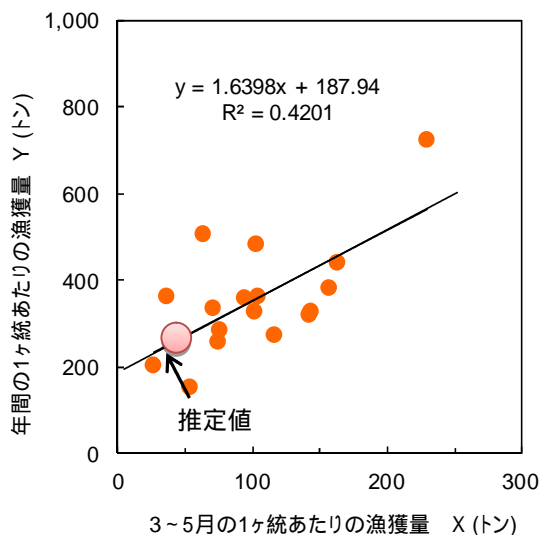


図2 初漁期のマアジ漁獲量と年間漁獲量の関係

漁獲量の変動には、水温などの海洋環境、小型いわし類などの餌料環境が関与していると考えられます。6月上旬の水温は平年並みですが(図3)、近年マアジの餌となるカタクチイワシが少ない状態が続いています(図4)。

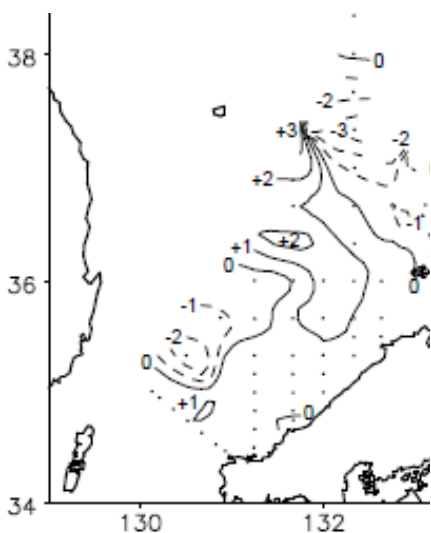


図3 日本海南西海域における6月上旬の50m水温偏差。点線は平年より低い海域(日本海漁場海況速報(日水研)より抜粋)。

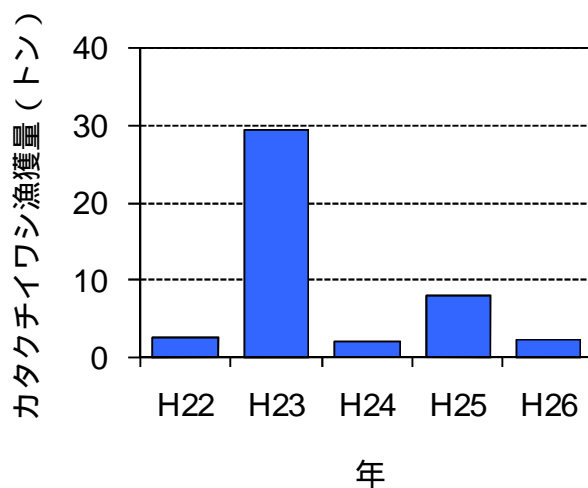


図4 長門市湊地区におけるカタクチイワシ(3~5月)の漁獲量。

山口県のマアジ漁獲量は、対馬暖流系群マアジ資源量の影響を受けると考えられます。平成26年3月に開催された東シナ海～日本海西南域にかけての対馬暖流域における平成26年度上半期(4月～9月)のマアジの長期漁況予報は、前年を上回って平年並みと予測されています。